

「不誠実さの縮図：偽善について」

兄弟、姉妹の皆様にとり祝福に満ちた金曜でありますように。本日のホトバでは、あるひとつの悪事についてお話したいと思います。それは、私たちがこれまでに行ってきたすべての善行を無に帰し、取り去ってしまう悪事です。その悪事とは、偽善であります。これは美しいものすべてを破壊し、あらゆる善行を打ち消してしまう、不誠実の典型であります。偽善とは、人間関係やお互いの信頼を損ね、その人に対する人望を失わせる一種の病（やまい）であります。

私たちの預言者（彼の上に祝福と平安あれ）は、サハーバ（教友）たちとの会話の中で、偽善について次のように指摘しています。「あなた方について私が最も恐れるのは、小さなシルク（偶像崇拜）です」と、アッラーのみ使いは仰られました。そこで彼らはこう尋ねました、「アッラーのみ使いよ、小さなシルクとは何でしょうか?」。すると私たちの預言者はこうお答えになられました。「偽善とは、小さなシルクにあたります。審判の日、アッラーは万人にその行ないに報いたまい、それから偽善者にはこう告げたもうでしょう。『現世において、偽善を働いた者のところへ行け!見よ!彼らのそばに報奨や善行があるだろうか?』」。ⁱ

兄弟、姉妹の皆様!

もしも私たちが偽善を働いたなら、私たちのミウラージュである礼拝も、私たちが悪から守ることはできなくなります。このような類（たぐ）いの礼拝はファワイルリルムサッリーン、「災いなるかな、礼拝する者でありながら、」アッラズィーナフムアンサラーティヒムサフーン、「自分の礼拝を忽（ゆるが）せにする者」と、クルアーンのアヤ（章句）において指摘されている通りの礼拝であります。このような類（たぐ）いの礼拝をする者はアッラズィーナフムユラーウーン、「人に見られるための礼拝をする者」であります。ⁱⁱ

尊敬すべき信仰者の皆様!

私たちの断食も、それを偽善のために無駄にしてし

まうようでは、私たちが悪から守ることはできません。もしも家畜を、偽善をもって犠牲に捧げるようでは、それは私たちが神に近づけることにはならないでしょう。もしも私たちのサダカが、ザカートが、善行が、偽善によって汚れていたとしたら、神に対する服従を示すことはできないでしょう。私たちの預言者（彼の上に祝福と平安あれ）は、偽善で汚れた行為は、審判の日に大いなる悲嘆をもたらすだろうと仰せられています。ザカートを支払うときに、「皆は私を寛大だと思おうだろう」などと考える人がいたならば、彼の財産は彼自身を燃やす業火となるでしょう。もしも知識を蓄えることにより、「皆は私を賢いと思おうだろう」などと考える人がいたならば、彼の知識は彼自身を苛（さいな）む苦悩となるでしょう。そればかりか、もしもシャヒード（殉教者）が「皆は私を英雄だと思おうだろう」などと考えてシャヒード（殉教者）になろうとする人がいたならば、そのような殉教は受け入れられることはありません。なぜなら自らの望みを、まったくの虚栄心と引き換えにし、神に与えられている恩寵を捨て去る人の行為は、神によるいかなる価値も与えられないからであります。ⁱⁱⁱ

兄弟、姉妹の皆様!

イメージと虚栄心ばかりが、日々、この世界を支配しています。人類は急速に、誠実さから離れていきます。今日（こんにち）、自分を大きく見せようとするうぬぼれと偽善は、私たちの意識と精神を傷つけ、私たちの信仰と行為を脅（おびや）かし、人間関係や友情を害する最も大きな危険のひとつとなっています。私たちが信仰者として、現世において正直さ、誠実さの試練を課されているとき、私たちの義務とは、裏表（うらおもて）の顔を持つことなく、虚栄心と利己主義を遠ざけることであります。私たちの義務とは神の恩恵を求め、私たちのあらゆる言葉や行為において、主の幸福を目指すことなのです。

ⁱ Al-Bayhaqi, Suabū'l-imān, V, 333.

ⁱⁱ Al-Ma'un, 107/4-6.

ⁱⁱⁱ Muslim, Īmare, 152.